第237回柏崎地域早期景気観測調査　報告書
＜LOBO調査結果＞
ー　令和元年8月期　ー

〔調査方法〕
　会員企業168社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」（※従業員DIについては今期水準）および「向こう3ヵ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。
　DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

〔DI値とは〕
　DI値（景況判断指数）とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。
【業況】…「好転」-「悪化」
【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」
【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【仕入単価】…「下落」-「上昇」
【従業員】…「不足」-「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」

〔調査対象業種〕
建設業　　総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業　　鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業　　建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業　　飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業　宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

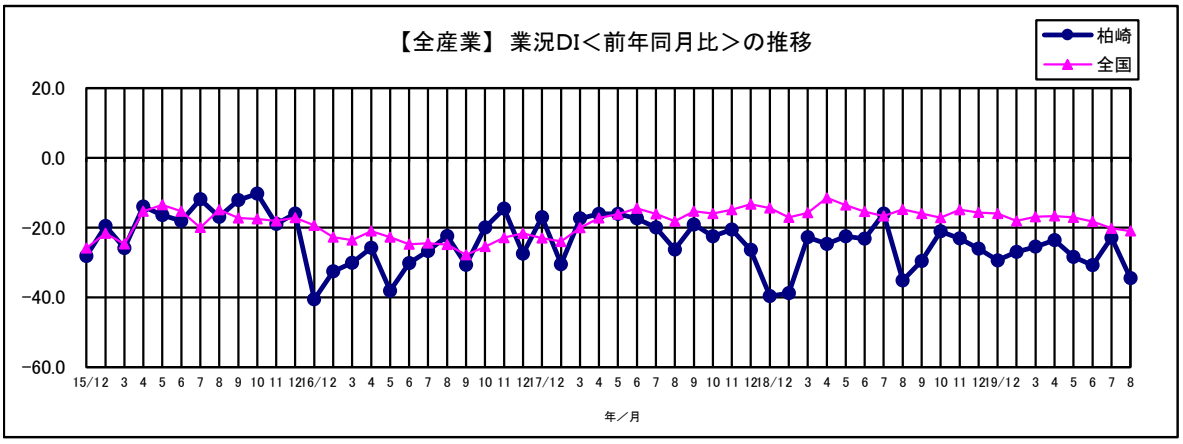
〔調査対象数・回答状況〕

業　種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	44	24	25	36	168
回答数	27	34	15	15	25	116
回答率（%）	69.2%	77.3%	62.5%	60.0%	69.4%	69.0%

柏崎商工会議所

◆概況（全産業合計）

項　目		19年3月	19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	先行き見通し 9月～11月
業　況	柏　崎	▲ 25.5	▲ 23.6	▲ 28.4	▲ 30.8	▲ 22.9	▲ 34.5	▲ 37.2
	全　国	▲ 16.9	▲ 16.7	▲ 17.1	▲ 18.3	▲ 20.2	▲ 21.0	▲ 22.7
売　上	柏　崎	▲ 24.5	▲ 20.8	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 33.9	▲ 41.7	▲ 35.5
	全　国	▲ 10.4	▲ 9.2	▲ 10.1	▲ 11.9	▲ 14.8	▲ 13.2	▲ 14.9
採　算	柏　崎	▲ 30.2	▲ 25.0	▲ 38.0	▲ 36.3	▲ 34.4	▲ 29.9	▲ 30.8
	全　国	▲ 15.7	▲ 16.0	▲ 17.4	▲ 18.1	▲ 20.8	▲ 18.9	▲ 19.7
資金繰り	柏　崎	▲ 12.4	▲ 15.6	▲ 13.2	▲ 14.9	▲ 15.2	▲ 12.0	▲ 13.9
	全　国	▲ 10.4	▲ 9.6	▲ 8.7	▲ 9.6	▲ 11.2	▲ 11.3	▲ 12.0
仕入単価	柏　崎	▲ 40.9	▲ 42.9	▲ 42.7	▲ 39.0	▲ 39.2	▲ 36.6	▲ 32.3
	全　国	▲ 40.6	▲ 45.0	▲ 43.4	▲ 40.7	▲ 38.1	▲ 35.7	▲ 34.7
従業員	柏　崎	22.6	22.3	22.4	21.6	18.8	19.4	25.1
	全　国							25.0
資金借入難易感	柏　崎	1.6	1.1	7.7	1.5	3.7	1.2	▲ 0.1

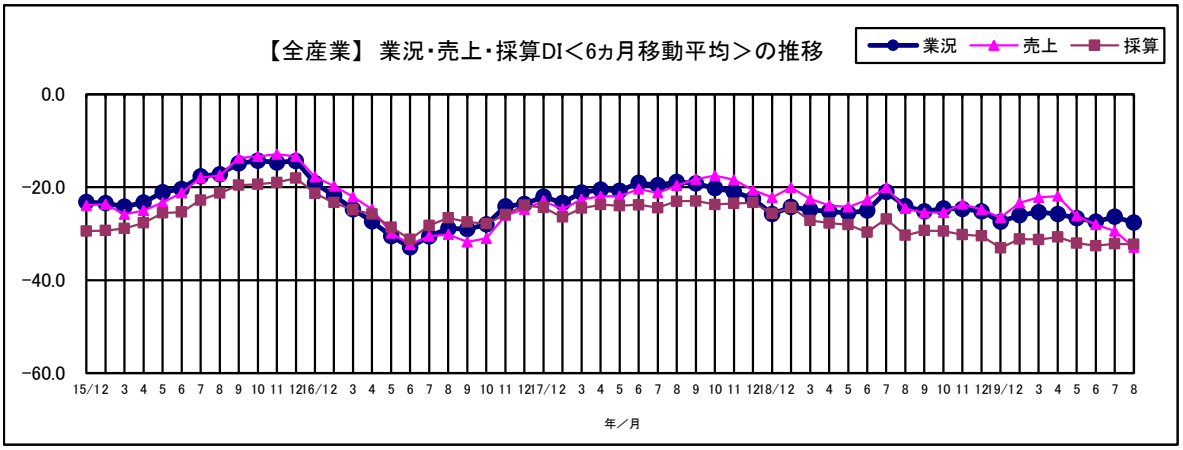


柏崎地域全体の業況DI（前年同月比）は▲34.5となり、先月縮小したマイナス幅が再び拡大する結果となった。移動平均分析のトレンドは前月はわずかに上向きへの推移を予感させたが、8月期の結果により若干ではあるが、下降した。

＜移動平均分析（全産業）＞

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがありますが、移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

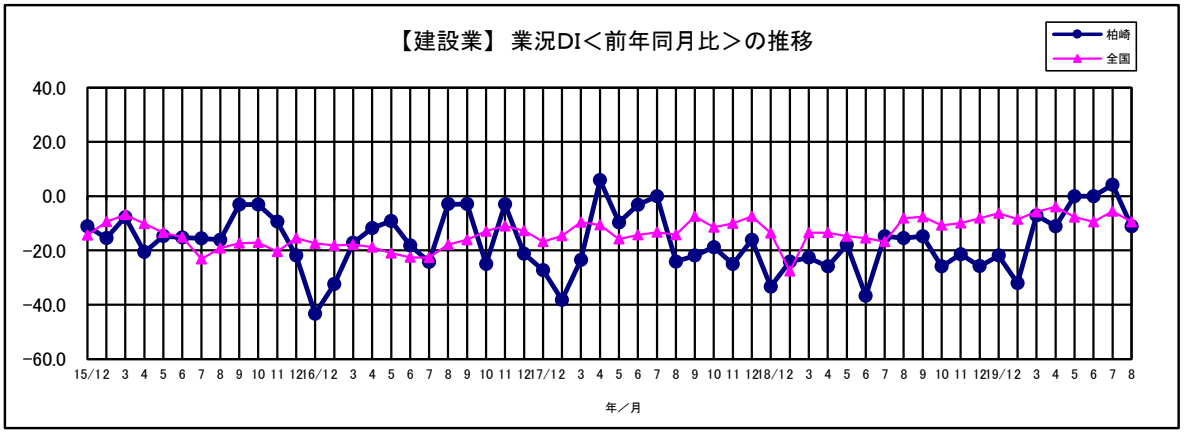
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



◆産業別調査結果

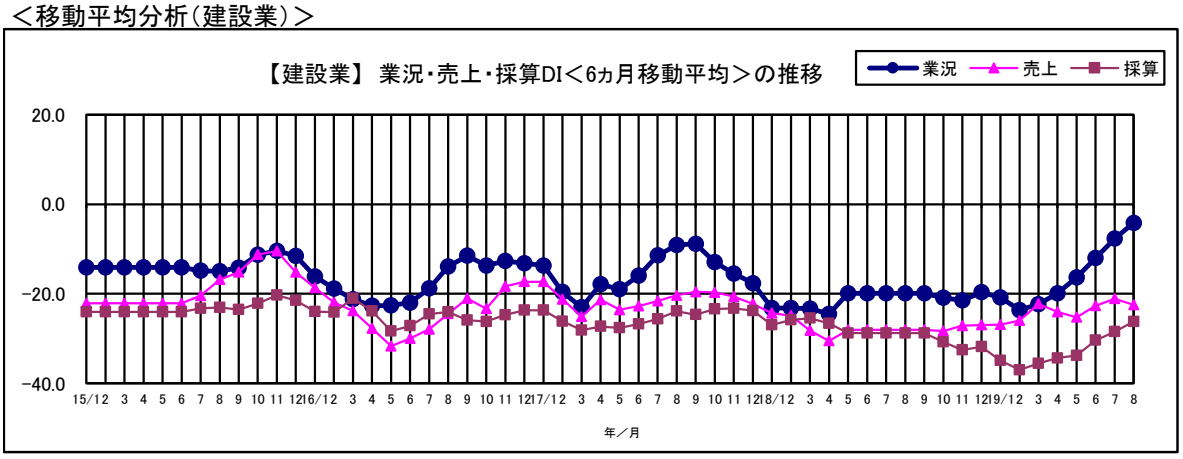
【建設業】

項　目		19年3月	19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	先行き見通し 9月～11月
業　況	柏　崎	▲ 7.1	▲ 11.1	0.0	0.0	4.2	▲ 11.1	▲ 18.5
	全　国	▲ 5.8	▲ 3.9	▲ 7.7	▲ 9.5	▲ 5.6	▲ 9.5	▲ 12.2
売　上	柏　崎	▲ 7.1	▲ 40.7	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 12.5	▲ 29.6	▲ 14.8
	全　国	0.0	0.7	▲ 5.4	▲ 4.3	▲ 4.6	▲ 4.6	▲ 2.0
採　算	柏　崎	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 32.1	▲ 12.0	▲ 29.2	▲ 22.2	▲ 25.9
	全　国	▲ 6.8	▲ 11.1	▲ 15.7	▲ 12.3	▲ 15.5	▲ 11.8	▲ 12.2
資金繰り	柏　崎	▲ 14.3	▲ 18.5	▲ 21.4	0.0	▲ 8.3	▲ 25.9	▲ 18.5
	全　国	▲ 2.7	▲ 2.9	▲ 5.4	▲ 1.5	▲ 4.6	▲ 3.3	▲ 4.6
仕入単価	柏　崎	▲ 25.0	▲ 44.4	▲ 35.7	▲ 28.0	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 18.5
	全　国	▲ 43.1	▲ 48.2	▲ 46.6	▲ 47.5	▲ 45.4	▲ 46.4	▲ 42.8
従業員	柏　崎	42.9	37.0	42.9	44.0	41.7	33.3	55.6
	全　国							39.8
資金借入難易感	柏　崎	▲ 7.1	▲ 3.7	7.1	▲ 4.0	0.0	▲ 7.4	▲ 7.4



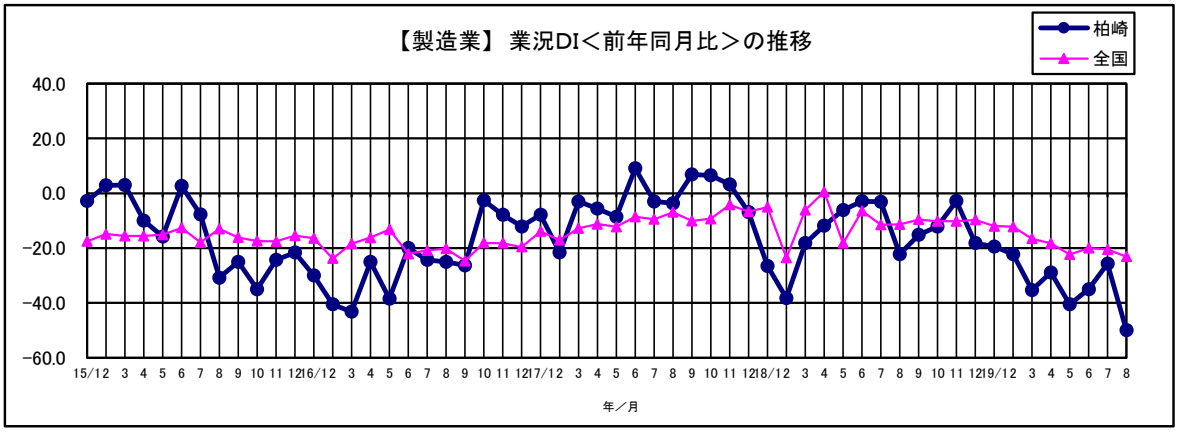
5月以降マイナス域を脱していたDI値は3ヶ月ぶりにマイナス域へと転じる結果となった。職別工事業において悪化と回答する企業が多く見られたことによるものである。移動平均分析のトレンドは依然右肩上がりで推移しているものの、先行き見通しの状況から来月以降は停滞する可能性がある。

＜移動平均分析（建設業）＞



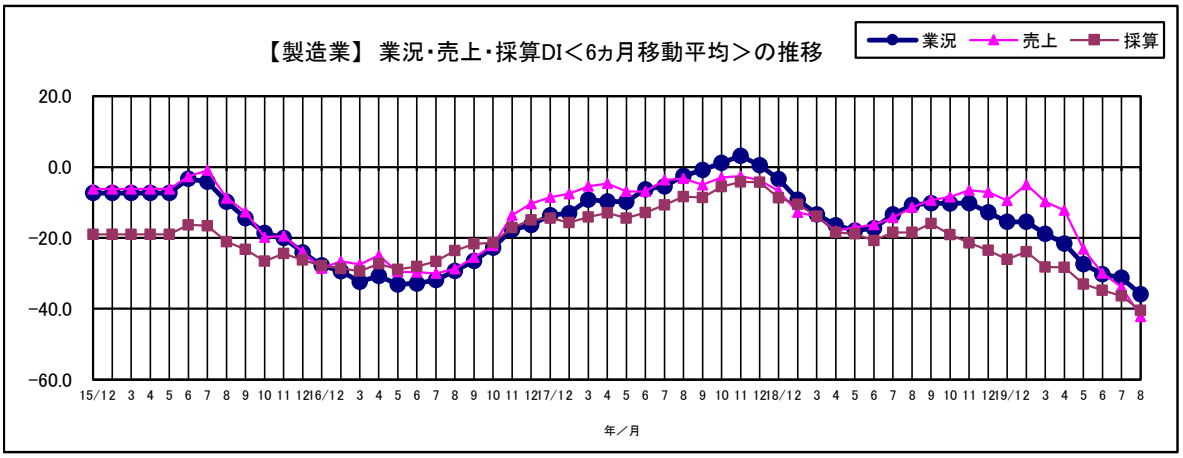
【製造業】

項　目		19年3月	19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	先行き見通し 9月～11月
業　況	柏　崎	▲ 35.3	▲ 28.9	▲ 40.5	▲ 35.0	▲ 25.7	▲ 50.0	▲ 29.4
	全　国	▲ 16.6	▲ 18.3	▲ 22.3	▲ 20.0	▲ 20.5	▲ 23.1	▲ 23.5
売　上	柏　崎	▲ 38.2	▲ 23.7	▲ 51.4	▲ 50.0	▲ 37.1	▲ 52.9	▲ 29.4
	全　国	▲ 5.0	▲ 9.4	▲ 9.2	▲ 15.8	▲ 14.5	▲ 10.6	▲ 17.1
採　算	柏　崎	▲ 41.2	▲ 36.8	▲ 48.6	▲ 38.0	▲ 37.1	▲ 41.2	▲ 32.4
	全　国	▲ 17.5	▲ 18.1	▲ 20.1	▲ 23.5	▲ 22.3	▲ 18.5	▲ 21.9
資金繰り	柏　崎	▲ 8.8	▲ 15.8	▲ 16.2	▲ 14.7	▲ 17.1	▲ 11.8	▲ 11.8
	全　国	▲ 11.4	▲ 11.1	▲ 8.6	▲ 10.9	▲ 9.7	▲ 8.8	▲ 11.9
仕入単価	柏　崎	▲ 47.1	▲ 34.2	▲ 48.6	▲ 44.1	▲ 40.0	▲ 38.2	▲ 29.4
	全　国	▲ 51.5	▲ 52.0	▲ 48.6	▲ 46.8	▲ 42.4	▲ 40.2	▲ 30.4
従業員	柏　崎	0.0	5.3	5.4	2.9	5.7	0.0	8.8
	全　国							15.8
資金借入難易感	柏　崎	17.6	18.4	18.9	17.6	20.0	11.8	11.8



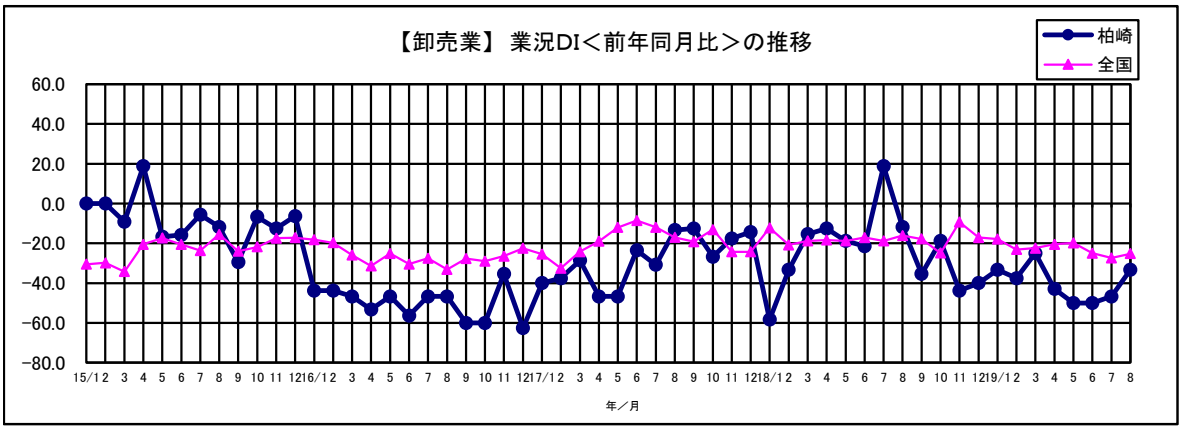
業況DIは、▲50.0となり先月から24.3ポイントの大幅ダウンとなった。7月期には業況・売上DIにおいてマイナス幅の縮小が見られたが、再びマイナス幅が拡大する結果となった。下降傾向にある移動平均分析のトレンドも更に落ち込み、2016年5月期の水準を下回る結果となった。

＜移動平均分析（製造業）＞



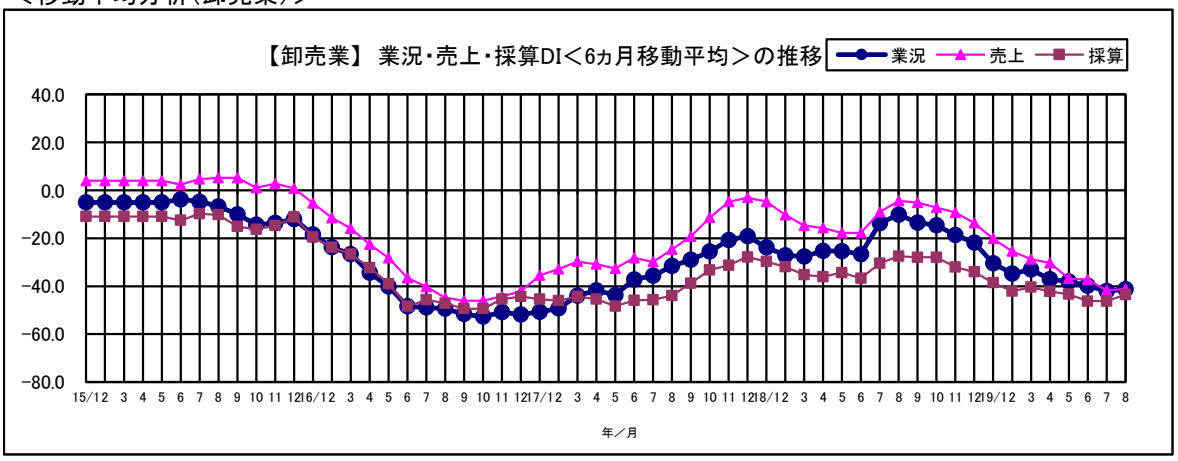
【卸売業】

項　目		19年3月	19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	先行き見通し 9月～11月
業　況	柏　崎	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 33.3	▲ 40.0
	全　国	▲ 22.4	▲ 20.5	▲ 19.8	▲ 25.5	▲ 27.4	▲ 25.2	▲ 23.0
売　上	柏　崎	▲ 31.3	▲ 28.6	▲ 64.3	▲ 35.7	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 20.0
	全　国	▲ 13.3	▲ 11.9	▲ 10.8	▲ 23.4	▲ 21.1	▲ 15.9	▲ 15.5
採　算	柏　崎	▲ 31.3	▲ 35.7	▲ 57.1	▲ 57.1	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 40.0
	全　国	▲ 8.1	▲ 14.6	▲ 14.0	▲ 22.6	▲ 25.1	▲ 19.5	▲ 20.8
資金繰り	柏　崎	▲ 18.8	▲ 21.4	▲ 21.4	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 13.3	▲ 20.0
	全　国	▲ 9.5	▲ 8.7	▲ 12.2	▲ 9.8	▲ 13.9	▲ 13.7	▲ 11.1
仕入単価	柏　崎	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 21.4	▲ 42.9	▲ 26.7	▲ 26.7	▲ 26.7
	全　国	▲ 35.7	▲ 42.9	▲ 44.1	▲ 37.9	▲ 34.9	▲ 33.6	▲ 35.8
従業員	柏　崎	18.8	35.7	35.7	42.9	40.0	33.3	33.3
	全　国							18.1
資金借入難易感	柏　崎	▲ 6.3	0.0	0.0	0.0	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 6.7



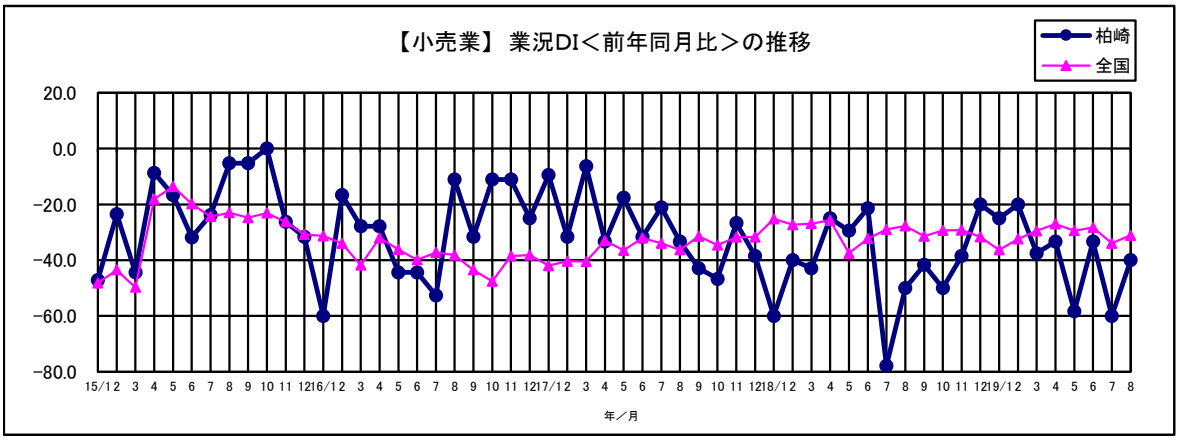
業況DIは▲33.3となり、6月期以降徐々にマイナス幅が縮小している。下降傾向にあった移動平均分析のトレンドは今期は横ばいとなったが、依然低い水準に留まっており、先行きの状況次第では、再び下降傾向となる可能性がある。

＜移動平均分析（卸売業）＞



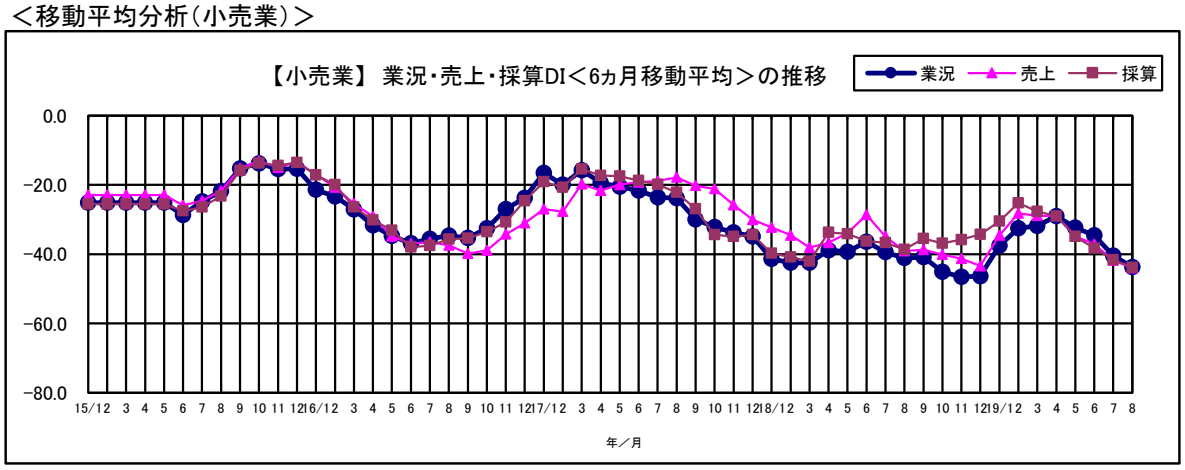
【小売業】

項　目		19年3月	19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	先行き見通し 9月～11月
業　況	柏　崎	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 58.3	▲ 33.3	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 53.3
	全　国	▲ 29.5	▲ 27.0	▲ 29.4	▲ 28.3	▲ 33.9	▲ 31.1	▲ 34.8
売　上	柏　崎	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 40.0	▲ 53.3	▲ 33.3	▲ 60.0
	全　国	▲ 28.7	▲ 25.7	▲ 26.0	▲ 24.1	▲ 30.5	▲ 26.9	▲ 27.9
採　算	柏　崎	▲ 31.3	▲ 33.3	▲ 58.3	▲ 46.7	▲ 53.3	▲ 40.0	▲ 40.0
	全　国	▲ 24.3	▲ 25.7	▲ 28.4	▲ 24.1	▲ 28.6	▲ 29.9	▲ 27.4
資金繰り	柏　崎	▲ 18.8	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 26.7	▲ 20.0	▲ 20.0
	全　国	▲ 17.2	▲ 18.3	▲ 14.9	▲ 16.0	▲ 17.8	▲ 18.2	▲ 19.2
仕入単価	柏　崎	▲ 50.0	▲ 53.3	▲ 41.7	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 40.0
	全　国	▲ 33.7	▲ 38.6	▲ 37.1	▲ 34.2	▲ 34.9	▲ 30.3	▲ 34.3
従業員	柏　崎	12.5	13.3	▲ 16.7	13.3	0.0	▲ 13.3	▲ 6.7
	全　国							19.9
資金借入難易感	柏　崎	▲ 12.5	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 6.7



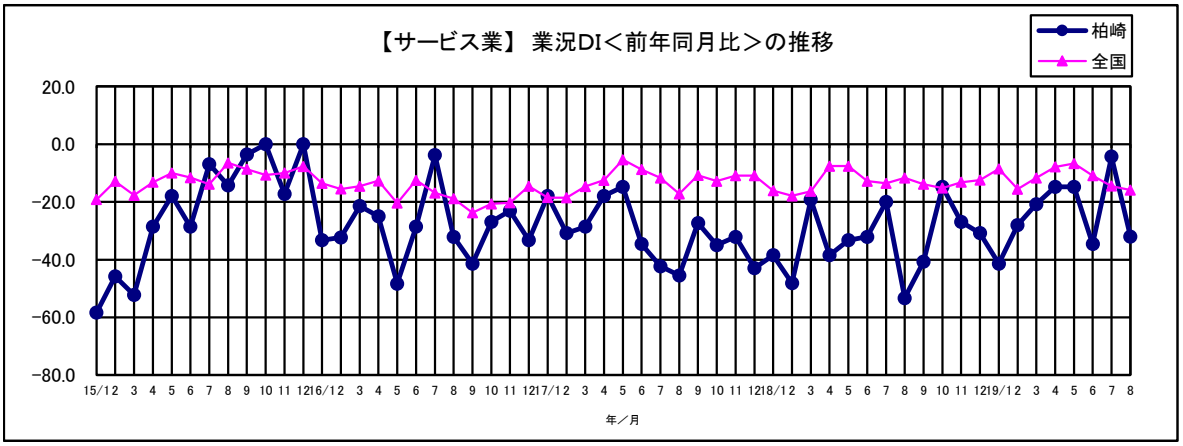
業況DIは7月期から20.0ポイントアップして▲40.0となったものの,約半数の企業が各項目で悪化と回答しており移動平均分析のトレンドも4月期以降下降する結果となっている。先行き見通しを見ても各項目での悪化が見られ、この点からも移動平均分析のトレンドは落ち込むことが予想される。

＜移動平均分析（小売業）＞



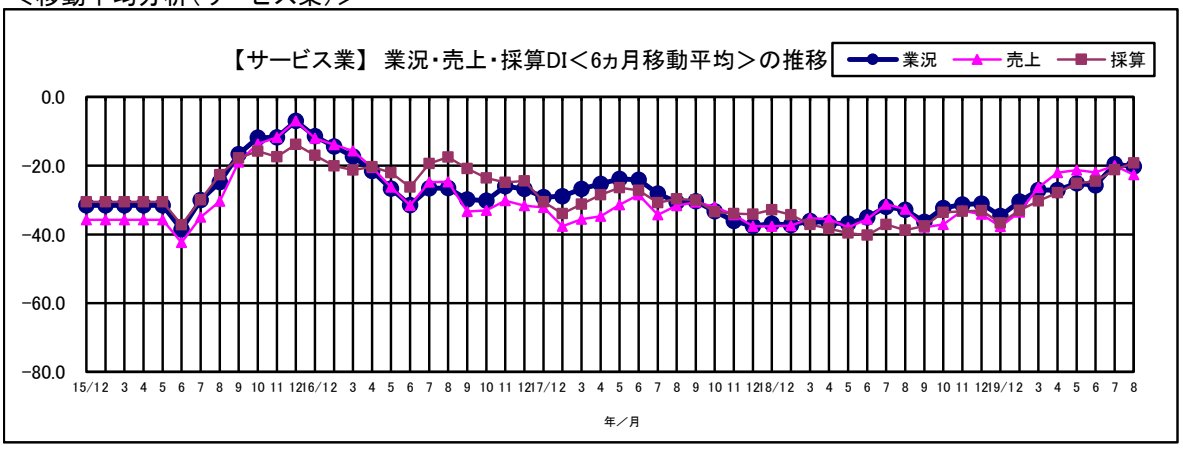
【サービス業】

項　目		19年4月	19年5月	19年6月	19年6月	19年7月	19年8月	先行き見通し 9月～11月
業　況	柏　崎	▲ 14.8	▲ 14.8	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 4.3	▲ 32.0	▲ 44.0
	全　国	▲ 7.9	▲ 6.7	▲ 10.9	▲ 10.9	▲ 14.5	▲ 15.9	▲ 18.5
売　上	柏　崎	0.0	▲ 14.8	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 26.1	▲ 44.0	▲ 44.0
	全　国	0.2	▲ 0.6	1.9	1.9	▲ 5.5	▲ 8.6	▲ 10.2
採　算	柏　崎	▲ 3.7	▲ 18.5	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 21.7	▲ 16.0	▲ 24.0
	全　国	▲ 10.1	▲ 8.5	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 14.3	▲ 14.5	▲ 15.5
資金繰り	柏　崎	▲ 3.7	3.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 8.7	0.0	▲ 8.0
	全　国	▲ 6.1	▲ 4.2	▲ 8.4	▲ 8.4	▲ 10.0	▲ 12.2	▲ 11.2
仕入単価	柏　崎	▲ 3.7	▲ 48.1	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 43.5	▲ 48.0	▲ 40.0
	全　国	▲ 42.3	▲ 41.0	▲ 37.1	▲ 37.1	▲ 35.1	▲ 30.3	▲ 33.9
従業員	柏　崎	29.6	37.0	23.1	23.1	21.7	40.0	36.0
	全　国							31.9
資金借入難易感	柏　崎	▲ 13.3	▲ 8.3	7.4	▲ 3.8	4.3	4.0	0.0



業況DIは▲32.0となり、7月期から27.7ポイントの大幅ダウンとなった。移動平均分析のトレンドは7月期まで緩やかな右肩上がりとなっていたものの、8月期の結果によってほぼ横ばいとなった。

＜移動平均分析（サービス業）＞



●8月期調査に寄せられたコメント（自社の動向、経営上の課題など）

＜製造業＞

・ 今春以降アジア方面の輸出が急減少している。原因はアメリカと中国の貿易問題であるが、中国国内の個消費の落ち込みも要因として大きいと思われる。初夏以降韓国とは政治問題で輸出は皆無の状態で当面は往年の流れにならないと思う。

・ 活発に動いていたユーザーが急激な下降状態となり、影響が大きい。早い復活を希望する現状である。

・人材不足（若年層）技術伝承が難しくなっており、定年延長の原因の一つとなっている。

・2020年春卒業の新卒採用内定がほぼ確定した。人数的には昨年並みに獲保できた。

＜卸商業＞

・海水温の上昇で全国的な漁獲量の減少が続いている。

◇【参考資料1】 職業別求人倍率

＜雇用形態＞ ＜職業別＞	常用	常用パート
合計	1.30	0.85
管理職	0.00	0.00
専門・技術職	2.36	1.89
事務職	0.35	0.23
販売職	1.72	2.29
サービス職	2.32	2.60
保安職	7.14	7.80
農林漁業	1.00	0.00
生産工程	1.24	0.54
輸送・機械運転	2.16	1.45
建設・採掘	9.19	0.00
運搬・清掃・包装等	0.25	0.20

（倍）

令和元年7月の有効求人倍率は、パートを含む全数で1.19倍となり、前年同月の1.39倍を0.20ポイント下回った。パートを除く常用は1.30倍となり、前年同月の1.56倍を0.26ポイント下回った。

新規求人は全体で679人となり、前年同月の742人から63人減少した。新規求職は、全体で367人となり、前年同月の343人から24人増加した。

（資料：ハローワーク柏崎）

◇【参考資料2】：専用住宅及び併用住宅の市内・市外施工業者別確認件数

		市内施工業者	市外施工業者	計
7月	新築	5	11	16
	増築	1		1
	改築			
	移転			
	用途変更			
	計	6	11	17
前月までの累計	新築	36	53	89
	増築	5		5
	改築	5	5	10
	移転			
	用途変更			
	計	46	58	104
合計		52	69	121

（件）

（資料：柏崎市 建築住宅課）